

第38回

# ICTワークショップ シヨツプ。

公文書のソフトウェア開発、人の  
「感性」に着目した付加価値創造  
事例、病院での転倒・転落事故防  
止システム標準化と管理体制構築

2024 **7/11** (木) 16:00~17:40

(100周年記念ホール及びオンライン同時配信)

要申込  
詳しくはこちら



交流会(参加費1000円,ただし学生は無料)を実施します。  
対面および交流会は先着35名様に限らせていただきます。(7/5締切)  
オンライン参加は定員はありません。(当日12:00締切)



国立大学法人  
**電気通信大学**  
The University of Electro-Communications

主催：国立大学法人電気通信大学  
後援：一般社団法人首都圏産業活性化協会（TAMA協会）  
企画：産学官連携センター UECアライアンスセンター運営支援部門

# プログラム

## (1) 「ネクストソリューション株式会社のご紹介」 —公文書処理のためのソフトウェア技術—

依岡 正明 氏 (ネクストソリューション株式会社 代表取締役)

公共文書の処理技術に特化したソフトウェア製品やCloudサービスを提供。特許情報システム、投資信託目論見書の約款や生保・損保の約款、厚労省 (PMDA) 医薬品・医療機器添付文書など、閲覧や改訂が繰り返される公文書のソフトウェア開発を得意としています。近年は電気通信大学との共同研究の成果の事業化に取り組んでいます。

## (2) 「素材の質感に着目した「感性マテリアルプラットフォーム」構築の取り組み」

秋山 正晴 氏 (感性AI株式会社 代表取締役)

製品のコモディティ化(陳腐化)や諸外国の技術力向上といった厳しい市場環境にさらされているものづくりの分野において、人の「感性」に着目した新たな付加価値の創造に取り組む企業が増えています。今回は、AIの活用によって素材の「質感」を可視化し、製品の企画・開発を展開する事例をご紹介します。

## (3) 「病院における転倒・転落事故防止システムの開発」 —求められるシステムについて標準化をベースに考える—

加藤 省吾 准教授 (情報理工学研究科 情報学専攻)

病院における転倒・転落事故は、患者の行動に起因する事故の中でも発生頻度が高く、時に骨折や脳障害などの重大な結果をもたらすため問題となっています。本ワークショップでは、前提となる病棟整備、アセスメントの標準化、個別計画の標準化、HIS(Hospital Information System)連携の標準化、から構成される階層的な管理体制の構築方針を示し、今後求められる事故防止システムについて考えます。